

ごみが減るといふことは、暮らしのなかの無駄も減るといふことです。ものを大切にすく心や、活かして使うライフスタイル、やってみると、結構気持ちがいいですよ。そんな取組の成果が表れてきました。

有料化導入2年前・2年後 ↓ごみ量9.3%減!

平成21年10月に「家庭ごみ処理有料化制度」が導入されたから2年がたちました。この制度の導入によって確実に長野市のごみが減ってきています。

制度導入2年前(H19・10~H20・9)と2年後(H22・10~H23・9)の1年間のごみ量を比較すると、総量で9.3%の減少、そのうち家庭系では7.0%、事業系では13.8%の減少となり、排出抑制効果が得られています。

これは、住民説明会などによる啓発活動や、ごみの再資源化など、市民のみなさんの協力とリサイクル意識の高まりによるさまざまな取組の成果と考えられます。これから引き続きご協力をお願いします。

費用を抑えながら環境負荷も軽減しよう

平成22年度、ごみ処理にかかった費用は約31億3百万円

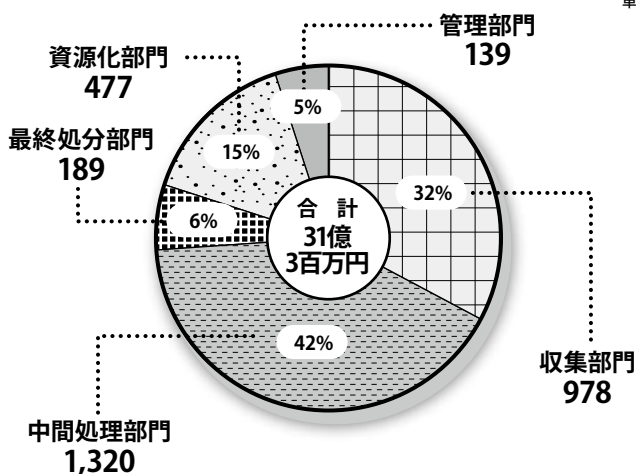


発行所
長野市生活環境課
2012年3月発行
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
電話: 026-224-5035 FAX: 026-224-5108
seikatukankyo@city.nagano.nagano.jp

	H20.12	H23.12	対比
可燃	9,364t	7,985t	-14.7%
資源	694t	534t	-23.1%
燃焼	957t	859t	-10.2%
資源	285t	226t	-20.6%
燃焼	81t	69t	-15.2%
燃焼	52t	42t	-19.2%
燃焼	325t	322t	-1.2%
燃焼	0t	393t	—
燃焼	7t	16t	117.7%
合計	11,766t	10,446t	-11.2%

毎日、家庭・事業所から排出されるごみは、ごみ焼却施設と最終処分場で処分されています。施設のある大豆島地区と篠ノ井小松原地区の皆さまに、ご理解とご協力をいただいております。

平成22年度ごみ処理経費



となりました。1トンあたりの処理原価は26,311円に換算すると、約8,015円の負担をしている計算になります。

今後は、ごみ処理費用をできるだけ抑えながら、環境への負荷を減らす努力をしなければなりません。それには、一人ひとりが分別を徹底して、資源物を有効に利用し、ごみの排出量を減らす心がけが必要です。

日々の小さな努力の積み重ねが大きな一歩につながっていくのです。

- 【各部門内訳】**
- 収集部門……ごみ収集委託費
 - 中間処理部門……清掃センターの人員費・業務委託費・施設の維持補修費
 - 最終処分部門……小松原処分場の人員費・業務委託費・維持管理費
 - 資源化部門……リサイクル施設委託業務費・維持補修費
 - 管理部門……ごみ処理を円滑に行うための管理経費

※環境省「一般廃棄物会計基準」より算出